

年報

令和8年度

徳島県立図書館

まえがき

徳島の豊かな自然と文化に囲まれた「文化の森総合公園」において、徳島県立図書館がその歩みを始めてから35年が経過いたしました。この間、当館は地域の「知の拠点」として、県民の皆様が多様な「知りたい・学びたい・調べたい」という願いに応えるべく、資料の収集とサービスの充実に努めてまいりました。

令和6年度から7年度にかけては、開館以来初となる大規模改修工事を実施いたしました。期間中の休館や利用制限により、県民の皆様には御不便をおかけしましたが、皆様方の御理解と御協力の下、施設の一新とともに、現代の多様なニーズに対応した「より親しみやすく、より使いやすい図書館」へと生まれ変わることができました。

リニューアルオープンに際して開催した見学会等は、新しくなった館内や図書館の裏側の機能についても深く知っていただく機会となりました。多くの方々から温かいご期待をいただき、再び皆様をお迎えできましたことは、私ども職員にとりましても感慨深く、改めて身の引き締まる思いでございます。

また、事業運営におきましては、令和7年度は「徳島県立図書館サービス向上目標(第4期)」の最終年度という節目を迎えました。工事による制約がある中ではございましたが、デジタルアーカイブの拡充や非来館型サービスの強化など、創意工夫を凝らした取り組みにより、目標を概ね達成することができました。

令和8年度からは、新たな指針となる「サービス向上目標(第5期)」がスタートいたします。リニューアルした施設を最大限に活用し、情報の提供のみならず、人と知識が交流する場として、また課題解決を支援するパートナーとして、より一層愛される図書館を目指してまいります。

本冊子は、令和7年度における当館の活動実績をまとめたものです。本書を通じて、県立図書館の現状と取り組みについて御理解を深めていただければ幸いです。今後とも、皆様のさらなる御支援と御活用を心よりお願い申し上げます。

令和8年6月

徳島県立図書館長 大井 文恵

目 次

I	運営の基本方針	1
	令和8年度重点事業	1
II	令和8年度事業計画	2
	令和8年度図書館費予算（当初）の状況	7
	徳島県立図書館資料収集方針	8
	徳島県立図書館資料収集・選定運用基準	10
III	令和7年度事業報告	15
	1 企画振興担当関係	15
	2 調査・郷土担当関係	16
	3 資料・児童担当関係	18
	4 図書館システム関係業務	21
	5 他機関との連携事業ほか	21
	6 諸統計	28
IV	管理	30
	1 組織	30
	2 施設・設備	31
	3 沿革	32
	4 歴代館長	33
V	令和7年度行事記録	34
VI	大規模改修工事とリニューアルオープン	41
	データで見る徳島県立図書館の現状	43
	徳島県内市町村立図書館一覧	44
	徳島県立図書館案内図	45
	開館時間・休館日	45
	徳島県立図書館サービス向上目標（第4期）～新たな環境下の県立図書館サービス～	46

I 運営の基本方針

- 1 図書館法と「ユネスコ公共図書館宣言」の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。
また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。
- 2 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。
また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。
- 3 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。
また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の充実と子どもの読書環境の向上に努める。
- 4 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。
- 5 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。
- 6 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興に寄与する。

令和 8 年度重点事業

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に生涯を通じて応えていくとともに、県全体としての図書館サービスの向上を図るため、新たな環境下における非来館型サービスを含む、一歩先の図書館を見据えた「知の拠点」事業を引き続き推進する。

- 1 図書館「知の拠点」事業の実施
「子どもの読書習慣をはぐくむ図書館」「デジタル技術を活用した知的探究を応援する図書館」
「市町村立図書館・学校図書館をしっかりとサポートする図書館」「専門性を有する図書館の強化」を目指す。
- 2 県の中核図書館としての図書館資料の収集・整備・提供
 - ・県内外の図書館・関係機関との連携機能の強化
 - ・子どもの読書活動の推進、子どもの本の「資料センター的機能」の充実
 - ・徳島に関する幅広い資料の収集・充実
 - ・地域資料のデジタル化の推進、「デジタルアーカイブ閲覧システム」の拡張と地域資料提供の利便性向上
 - ・バーチャル図書館の構築による非来館サービスの充実
 - ・電子書籍閲覧サービスの充実
- 3 県民のさまざまなニーズや課題解決の支援
 - ・読書バリアフリーの環境づくりに必要な資料や機器、サービスの整備
 - ・子育て支援、行政支援、医療・健康情報等の収集・提供
 - ・地域振興や起業、就労に役立つ資料の充実

Ⅱ 令和 8 年度事業計画

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
企 画 振 興 担 当	徳島県立図書館協議会	館長の諮問機関として、県立図書館運営の基本的事項を審議する。	協議会委員	年 1 回	諮問事項の審議等。
	徳島県公共図書館協議会	県内公共図書館の連絡協調を図る。	県内公共図書館	理事会 4月中旬 研修会 年 3 回	活動状況の意見交換や相互協力について検討する。職員の研修会、図書館大会を開催する。
	徳島県読書振興協議会	県内読書推進機関の連携協力を図る。	市町村読書振興協議会 他	年 間	読書振興大会を開催するための援助等を行う。
	協力便の配送	県内図書館間協力のため、協力便により資料の貸出、県内図書館間の相互貸借等を行う。	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会	年 間	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会からの貸出希望に応じる。
	相談業務	図書館や類似施設等に、相談・助言を行う。	県内公共図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交換等を行う。
	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を1セット5～10冊編成で貸し出す。	図書館、読書グループ	年 間	貸出期間2ヶ月。図書館を通しての貸し出しも行う。
	町立図書館の設置促進	すべての町に図書館が設置されるよう推進する。	図書館未設置町	年 間	自治体の理事者・教育委員会に対して、その重要性を呼びかける。
	学校図書館への協力貸出	学校図書館からの貸出希望に応じて資料の貸出を行う。学校における図書館活動の活性化に協力する。	県内高等学校及び特別支援学校	年 間	希望校が、最寄りの市町村図書館で資料を受け取れるよう、県立図書館から協力車等で運ぶ。
	総合学術調査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて学術調査及び研究を行い、文化の推進及び地域貢献に寄与する。	勝浦町・上勝町	年 間	11学会約100名の専門家によって、それぞれの分野で集中的に調査を行う。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
調 査 ・ 郷 土 担 当 (調 査)	逐次刊行物の選択・収集・整理	最新の知識情報が得られる定期・不定期刊行物(新聞・雑誌、年鑑、年刊、統計書、白書、政府刊行物、官報等)を選択・収集し、整理する。	一 般	年 間	逐次刊行物は継続的に収集し、保存のため年次別に整備する。
	逐次刊行物の閲覧と貸出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸し出しや一部CD-ROMによる閲覧により、利用者の要求に応じる。	一 般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
	複写サービス	著作権法にのっとり、複写サービスの適正な運用に努める。	一 般	年 間	館内利用者及び県内外からの複写申し込みに応じる。
	雑誌スポンサー制度	雑誌スポンサーを募集し、ブラウジングコーナーの充実を図る。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入費を負担してもらおう。最新号カバー等にスポンサー名を表示する。
	参考図書の収集と整理	各分野の調査・相談に必要な参考図書の収集、整備に努め、利用に供する。	一 般 図 書 館	年 間	新刊情報誌等により、選書、収集する。
	電子書籍閲覧サービス	課題解決に役立つ電子書籍を提供する。	一 般 図 書 館	年 間	館内端末とインターネットで個人に提供する。
	特別集書の収集と貸出	「橋と川」に関する資料を収集し貸出する。	一 般 図 書 館	年 間	「橋と川」に関する資料を収集する。
	データベースの提供	オンラインデータベースを活用し、高度な調査研究に応える。	一 般	年 間	契約データベースの閲覧専用端末を設置。可能なものはプリントアウトに応じる。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	総合目録ネットワークと相互貸借	国会図書館、全国の公共図書館とのネットワークに参加する。相互貸借により利用者の資料要求に応える。	一 般 図 書 館	年 間	総合目録ネットワークシステムへ蔵書目録データを提供する。県外図書館から資料を借り受け、利用者へ提供する。
レファレンスツールの作成	レファレンスの事例をデータベース化し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンスの回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。	

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
(調 査)	検索コーナーの管理・運営	来館者の自主的な調査研究を援助する。	一 般	年 間	利用者用検索端末・デジタル画像閲覧端末を設置し、各種コンテンツを提供する。
	インターネット端末の一般開放	調査研究や知的創造などに欠かせない電子文献の収集を援助・促進する。	一 般	年 間	インターネットが閲覧できる端末を設置し、Web情報の利用に供する。
調 査 ・ 郷 土 担 当 (郷 土)	郷土資料の充実と整理	郷土に関する資料要求に応えるため、郷土に関する資料の収集・整理に努める。	一 般	年 間	特色のあるコレクションとして一般蔵書と区別して保存し、利用に供する。
	地方行政資料の収集と整理	地方行政資料の網羅的な収集整理に努める。Web版資料についても収集に努める。	一 般	年 間	県、市町村及び国の出先機関等に資料の提供を呼びかける。Web版資料の電磁的記録と利用に関する許諾を求める。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる郷土に関する調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	資料の複写	デジタル化された新聞、郷土資料等の複写サービスを行う。	一 般	年 間	文化の森デジタルアーカイブシステムによる複写を行う。
	資料のマイクロフィルム化・デジタル化	調査研究資料として増大する新聞情報、貴重資料をマイクロフィルム化・デジタル化して整理保存、利用者に提供する。	一 般	年 間	現在、収集保存している全国紙地方面を引き続きマイクロフィルム化し、利用に供する。また、貴重資料等のデジタル化に努める。
	図書の展示	テーマにそった郷土資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	郷土資料の展示を行い、展示資料リストを作成する。
	郷土用レファレンスツールの作成	郷土の事項や人物に関するレファレンス事例データベースを作成し、検索ツールとして役立つ。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンス回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料・児童担当（資料）	資料の収集と整理	一般貸出資料の選択・収集・整理を行う。	一 般	年 間	新刊情報により選書し、発注、受け入れ・貸し出しを行う。
	資料の配架と保存	開架図書の利用を促進し、書庫内資料の速やかな出納を容易にする。	一 般	年 間	オープンスペースと書庫の資料を適正に配列する。
	予約・リクエスト制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	一 般	年 間	来館・電話・インターネットで予約を受け処理する。（未所蔵リクエストは来館でのみ受付）
	視聴覚資料の収集と整理	CDの収集・整理を行う。	一 般	年 間	CDブックを収集し、貸し出しする。（音楽CDは寄贈のみ収集）
	障がい者及び高齢者用資料の収集と整理	障がい者や高齢者のための資料を収集する。	障がい者 高 齢 者	年 間	大活字本やDAISYを収集・整理し、貸し出しを行う。また、据置型・携帯型拡大読書器、プレクストークを設置している。
	対面朗読	目の不自由な方に、資料を朗読する。	目 の 不 自 由 な 方 等	年 間	来館のうえ、対面朗読協力者が朗読する。
	郵送貸出	障がいのため、来館が困難な利用者に、郵送による貸し出しを行う。	障がい者	年 間	電話、インターネット等で申し込みを受け付け、図書館資料を郵送する。
	督 促	期限を過ぎても返却しない利用者に対して督促通知を行い、資料の効率的運用を図る。	一 般	年 間	郵便と電話により、通知を行う。
	ベストセラー寄贈事業	予約者が多いベストセラー本の寄贈をお願いし、予約待ち期間の短縮を図る。	一 般	年 間	図書館ホームページや館内にリストを掲示し、寄贈していただく。
	貸出、利用者登録	資料の貸し出しと貸出利用者の登録を行う。	一 般 児 童	年 間	貸し出しは、県内在住者、在勤者、在学者に対して10冊22日間。（貸出日を含む）
図書の展示	テーマに沿った一般貸出資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。	

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料・児童担当（児童）	資料の収集と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話しCDなどを収集整理する。	乳幼児～一般	年 間	新刊情報により選書し、発注、受け入れ、貸し出しを行う。
	予約・リクエスト制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	乳幼児～一般	年 間	来館、電話、インターネットで予約を受け処理する。（未所蔵リクエストは来館でのみ受付）
	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの読書関係者（機関）、市町村立図書館等からの質問に対して必要な資料や情報を提供する。	乳幼児～一般、図書館、関係機関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによる質問に応じる。
	学校図書館との連携推進	学校図書館担当職員の相談・要望に応えることにより、学校図書館との連携を進める。	特別支援学校図書館 他	年 間	要望のある県立学校図書館を訪問して説明や相談に応じる。
	子育て支援	子育てに関する資料・情報を提供し、子育て世代をサポートする。	一 般	年 間	子育て支援図書コーナーの設置。「助産師さんと話そう！」（毎月1回）の開催。
	子どもの読書に関する研修会	公共図書館職員、読み聞かせボランティア、子どもの読書活動推進関係者などが、子どもの読書のすすめ方について研修を行う機会を提供する。	子どもの読書活動推進関係者、図書館	年 間	研修会を開催する。
	おはなし会	絵本の読み聞かせなどによって、乳幼児・児童に読書の楽しさを味わってもらおう。	乳 幼 児 児 童	月 3 回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどを行う。（月2回はボランティアによる）
	こどもの本コーナーだよりの発行	児童書、子どもの読書関連行事等を紹介するとともに、こどもの本コーナーの広報を行う。	乳幼児～一般	月 1 回	ホームページ「こどもの本コーナー」にも掲載する。
	図書の展示	テーマにそった児童書の展示を行い関心を高め、子どもの読書活動を推進する。	乳幼児～一般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
そ の 他	とくしまネットワーク図書館システム等の管理運営	コンピュータ委員会を中心に、「とくしまネットワーク図書館システム」、図書館ホームページなどの管理運営を行う。	一 般 図 書 館 関係機関	年 間	コンピュータシステム関連の維持・管理。 マーク登録、蔵書点検作業、ホームページの管理運用などを行う。

令和8年度図書館費予算（当初）の状況

(単位：千円)

事 項 名	令和8年度 予算額(当初)	備 考
図書館管理運営費	53,923	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費
県立図書館 「知の拠点」事業	41,404	一般図書購入費 子どもの本充実費 児童図書購入費 電子書籍コンテンツ購入費 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費
館内奉仕運営費	400	館内サービス提供諸経費
コンピュータ管理運営費	4,619	コンピュータ関係経費 (第7期図書館システム運用保守経費を除く。)
郷土資料調査収集研究費	818	総合学術調査経費 郷土資料収集費
読書活動推進費	6,100	協力便配送経費等 読書振興大会補助金
計	107,264	

徳島県立図書館資料収集方針

I 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会採択 1979年改訂）の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

II 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

III 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
 - (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
 - (2) 書込を目的として編集されたもの。
 - (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー（人権）を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

IV 個別基準

<郷土資料の収集>

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域（淡路を含む～近世）とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に関係しているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
 - (1) 郷土地域について書かれたもの
 - (2) 郷土の人物について書かれたもの
 - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
 - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、閲覧用、貸出用を収集する。

<参考資料の収集>

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 辞典 | 7 年表 |
| 2 百科事典 | 8 地図帳 |
| 3 専門辞典 | 9 書誌 |
| 4 人名(伝記)事典、地名事典 | 10 索引 |
| 5 便覧(ハンドブック) | 11 抄録 |
| 6 図鑑 | 12 統計書 |

<児童資料の収集>

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

<視聴覚資料の収集>

- 1 市販されている録音図書(カセット、CD等)、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。

<新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集>

- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準(昭和63年4月1日制定)」によるものとする。

<電子書籍の収集>

辞典・図鑑など調査研究に役立つ資料や郷土資料、図書館の設定したテーマに沿った資料を収集する。

<マイクロフィルムの収集>

徳島県に関連するものを収集する。

<特別集書の収集>

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で収集する。

VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

VII その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

【 趣 旨 】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、徳島県立図書館資料収集方針に基づき定めるものとする。

1 一般資料

(共通基準)

1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料を収集する。
8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
13. 大活字本は積極的に収集する。
14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に耐える資料を収集する。
16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの限りではない。
17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
18. 劣情をそそる資料については収集しない。

(分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

ア 総記

1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

イ 哲学・宗教

1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・系統的に収集する。
2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

ウ 歴史・地理

1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。
3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。
4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

エ 社会科学

1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

オ 自然科学

1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の本なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して収集する。

カ 技術・工学

1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

キ 産業

1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

ク 芸術

1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
3. コミック漫画は、収集しない。ただし、学習漫画は別途に判断する。
4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

ケ 言語

1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。ただし、試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

コ 文学

1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く収集する。著名な文学作品やその関係書については、精選する。
3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを収集する。
4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を収集する。
5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く収集する。

2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

1. 雑誌

- (1) 情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。

- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

2. 新聞

- (1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4) 継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる（改定される）資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2) 農業利水、農業用水（614.3）は原則として除く。

5 郷土資料

1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。

- (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
- (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
- (3) 個人著者等が徳島出身の資料
- (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
- (5) 県内自治体、関係機関が発行する地方行政資料
- (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌、広報、リーフレット
- (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内

- (8) 徳島で発行される同人雑誌
 - (9) 徳島を舞台にした文芸作品
 - (10) タウン誌、ミニコミ紙
 - (11) 観光パンフレット、イベントちらし
 - (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
 - (13) 徳島の地図類
 - (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの
2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。
 3. 一般雑誌、多巻ものの一部（1巻）に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。
 4. 保存用のほかに閲覧用・貸出用の収集に努める。

6 児童資料

1. 乳児から中高生など10代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。
 - (1) 児童図書
 - (2) 紙芝居
 - (3) ヤングアダルト向けの図書
 - (4) 児童対象の録音図書など（CD）
 - (5) 児童向けの逐次刊行物
2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する
 - (1) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
 - (2) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
 - (3) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。
3. 収集の制限
原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。
 - (1) 形態
 - ・ 散逸しやすいもの
 - ・ 組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
 - ・ 著しく耐久性に欠けるもの
 - (2) 内容
 - ・ 受験用参考書、問題集
 - ・ 商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの（ゲームの攻略本など）
 - ・ 戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
 - ・ 童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの（CD、カセット）

附則

この基準は、平成25年4月1日から施行する

Ⅲ 令和7年度事業報告

1 企画振興担当 関係

文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

(1) 企画関係業務

- ① 図書館の維持管理
- ② 各種統計調査、年報の発行
- ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
- ④ 徳島県立図書館協議会を日に開催した。

(2) 協力関係業務

協力車と配送による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借を行った。また、県内全公共図書館と図書館未設置町教育委員会を訪問し、情報交換、相談・助言等を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸出を行った。また、各読書振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

- ① 協力車と配送による援助・協力活動を行った。延べ巡回日数 191 日 延べ配送日数 104 日
- (7) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19 市町村

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 14,669 冊

- (4) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数 5 町

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 2,619 冊

- ② 相談業務を実施した。

対象 市町村立図書館 27 館、図書館未設置町 5 町、県立高等学校 1 校

- ③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 29 校 協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 1,194 冊

- ④ 団体貸出の廃止

市町村図書館の充実により近年利用が少なく、蔵書も減少していたことから令和8年3月31日に廃止した。

- ⑤ 読書会文庫の貸出（1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。）

利用団体数 7 団体 貸出冊数 726 冊

- ⑥ 「まなびの森」講演会（生涯学習支援事業）を放送大学徳島学習センターと連携し行った。

開催講演数 12 講演 参加人数 339 名

- ⑦ 阿波学会総合学術調査の調査地を勝浦郡（勝浦町・上勝町）とし、令和7年8月3日に上勝町コミュニティセンターにて結団式を開催し、11学会11班が調査を実施した。

- ⑧ 協力業務実務担当者会を開催し、協力通信 No. 297～303 を発行した。

■ 協力車等の巡回状況

(平成 22 年 4 月 1 日から県内すべての市町村に配送開始)



◎：協力車等巡回配送対象市町村立図書館（19 館…各自治体に巡回）

□：協力車巡回配送対象教育委員会等図書館以外の施設

2 調査・郷土担当 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相互貸借、市町村立図書館への協力業務（レファレンス）を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

(1) 逐次刊行物関係業務

- ① 資料購入費（備品費）2,069,397 円で、年鑑、白書等 234 点を購入した。
- ② 資料購入費（需用費）5,011,182 円で、雑誌 268 タイトル 2,673 冊、新聞 28 種、官報 109 部を購入した。
- ③ 寄贈資料 年鑑・年報・統計書類 116 冊、雑誌 2,055 冊、視聴覚資料 1 点を受け入れた。新聞は 15 種であった。
- ④ ブラウジングコーナーには、約 5,000 冊、新聞・雑誌コーナーには、約 7,000 冊を開架し、閲覧に供した。
- ⑤ 製本費 166,320 円で、官報等 56 冊の製本を行った。
- ⑥ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、「徳島県内公共図書館購入雑誌

目録・所蔵新聞目録 2025 年版」を作成し、ホームページ上で公開した。

- ⑦ 県立図書館応援事業として平成 21 年度から雑誌スポンサー事業を実施し、令和 7 年度は、12 団体より 30 誌の提供があった。
- ⑧ 「夏野菜をおいしく」展などの雑誌のバックナンバーを用いたミニ展示を一般資料コーナーにおいて計 7 回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑨ 電子コピー機による複写枚数は、31,725 枚（白黒 30,879 枚、カラー 846 枚）であった。

(2) 参考資料関係業務

- ① 2,808,889 円で 参考図書 198 冊、57,159 円で 特別集書（橋と川に関する資料）を 18 冊購入した。
寄贈資料は、参考図書 33 冊、特別集書（図書 1 冊、雑誌 12 冊）であった。
- ② 144,963 円で地形図 351 枚を購入した。
- ③ 電子書籍 442 冊、3,998,115 円を購入し、電子書籍閲覧サービスを行った。また、県立高等学校等に電子書籍閲覧のための ID を配布し、電子書籍閲覧活用モデル事業として、美波町・牟岐町内の小中学校にも ID を配布した。
- ④ 参考資料コーナーには約 25,000 冊、特別集書コーナーには約 5,000 冊を開架し、閲覧に供した。
- ⑤ 参考質問件数は 8,197 件で、内訳は、レファレンス記録記載分 603 件（そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 28 件、県議会・行政機関からの参考質問は 5 件）、所蔵検索等の資料案内件数が 7,594 件であった。
- ⑥ 県外との相互貸借は、他館からの借り受けが 83 件 98 冊、他館への貸し出しが 339 件 620 冊で、合計 422 件 718 冊であった。（協力車等による県内図書館への貸し出しは除く。）
- ⑦ 「朝日クロスサーチ」等のオンライン・データベースを端末 2 台でレファレンスに活用した。国立国会図書館デジタル化資料を閲覧用端末 3 台で、利用に供し、また、これらデータベースのプリントアウトサービスを行った。枚数は 320 枚（白黒 319 枚、カラー 1 枚）であった。
- ⑧ ルーラル電子図書館活用講座「はじめての家庭菜園」（1/31 講師：農山漁村文化協会中国四国支部 長谷川貴央氏 参加者 20 名）を開催し、ブラウジングコーナーで関連資料の展示を行った。
- ⑨ 利用者用インターネット端末 2 台の利用は 163 件であった。
- ⑩ 参考図書の新着案内「これは使える！レファレンスブック案内」を 5 回作成し、ホームページで公開した。
- ⑪ 「スキルアップ」展などのビジネス支援に関するミニ展示を〈しごと応援コーナー〉において計 5 回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑫ 県内企業支援団体の協力を得て、経営者向け研究会、講演会、相談会のちらしを収集し、〈しごと応援コーナー〉の一角に設置した。

(3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費（備品費）825,471 円で、図書 325 冊、CD 10 枚、DVD 2 枚を購入した。
- ② 227,700 円で新聞のマイクロフィルム 4 巻と縮刷版 PDF 変換済データ一式を購入した。

- ③ 委託料 38,852 円で貴重資料 2 点のデジタル化を行った。
- ④ 資料購入費（需用費）92,820 円で、逐次刊行物 3 タイトル 60 冊と郷土新聞 1 タイトルを購入した。
- ⑤ 寄贈資料： 図書 523 冊、逐次刊行物 1,921 冊、視聴覚資料等 15 点を受け入れた。
- ⑥ 製本費 247,830 円で、新聞等 5 タイトル 37 冊の製本を行った。また、40,920 円で 7 点の修理製本を行った。
- ⑦ 「徳島新聞」等のマイクロフィルム・デジタル画像の閲覧 323 人、複写 1,923 枚（白黒 1,888 枚、カラー 35 枚）であった。
- ⑧ 研究室 1： 12 件 15 人、研究室 2： 0 件 0 人、撮影室： 0 件 0 人の利用があった。
- ⑨ 徳島新聞縮刷版 P D F ファイルをデジタル画像閲覧システムに登録し、館内専用パソコンで利用に供した。
- ⑩ 地方行政資料を、当館のホームページでも閲覧できるようにしている。
- ⑪ 郷土資料を探すためのヒントを与えるパスファインダー第 5 号を改訂した。
- ⑫ 「写楽」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブース等において計 12 回実施し、資料の利用促進を図った。
- ⑬ 「徳島県文化の森総合公園／とくしまデジタルアーカイブ」で 146 点の資料を公開した。
- ⑭ デジタルアーカイブ構築事業で和古書等 12 点のデジタル化を行った。

3 資料・児童担当 関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、障がい者、高齢者へのサービスを充実するため視聴覚資料の収集に努めるなど、県民全体へのサービス向上の更なる充実を図った。

(1) 貸出関係業務

- ① 図書資料購入費 18,462,919 円で、一般資料コーナー用図書 7,677 冊 17,891,259 円（大活字本を含む。）、視聴覚資料 137 点 571,660 円（朗読 C D 102 点、デージー 14 点、マルチメディアデージー 21 点）をそれぞれ購入し、整理した。
- ② 寄贈資料として図書 1,039 冊、視聴覚資料 3 点を受け入れた。
- ③ 一般資料コーナーに約 20 万冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。
- ④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数
6 諸統計（28,29 ページ）参照
- ⑤ 一般資料の予約・リクエストは 24,055 件であった。
- ⑥ 障がい者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 275 冊、一般用視聴覚資料 73 点、デージー 100 点であった。令和 6 年 5 月より、国立国会図書館の「視覚障害者等用データ送信サービス」と「学術文献録音テープ等の貸出サービス」の承認館となり、利用者の求めに応じて資料を提供している。
- ⑦ 閲覧室には、活字による読書が難しい人がデージー図書を利用できる専用端末（プレクストーク）や、据置型拡大読書器を設置し、読書環境を整えている。また、卓上型対話支援システム（コミュニケーション）をカウンターへ配置し、聞き取りやすさを補助して、利用者との円滑なコ

コミュニケーションが図れるようにしている。

- ⑧ AVコーナーでは、CDデッキ 1 台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしている。また、車椅子のまま利用できるCD・カセット用機器を設置している。
- ⑨ 対面朗読室の利用は、障がいの特性等により防音の部屋を必要とする利用者への提供が 11 回あった。
- ⑩ 「しごと応援コーナー」において、就職・起業、会社実務、経営・雇用、職場環境などに関する資料を紹介、貸し出した。
- ⑪ 「セカンドライフ応援コーナー」において、認知症やフレイル予防などシニア世代に身近なテーマの展示を計 4 回実施し、資料の利用促進を図った。また、ちらし・パンフレット等による情報提供を行った。
- ⑫ 「セカンドライフ応援講座～定年前後に知っておきたいお金の話～」(講師：J-FLEC 認定アドバイザー)を開催した。(10/25 参加者：14 名)
- ⑬ 県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、74 冊の寄贈を受けた。
- ⑭ 「大阪・関西万博開催中」などのミニ展示を一般資料コーナー検索端末機横の展示スペース(部分開館中は 1 階エントランス)と、ブラウジングコーナーにおいて計 15 回実施し、資料の利用促進を図った。

(2) 児童関係業務

- ① 資料購入費 6,563,530 円(うち〈こどもの本充実枠〉1,653,993 円)で、児童関係図書 3,452 冊(図書 3,363 冊、洋書 33 冊、紙芝居 56 巻)を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費は 272,017 円で、新聞 5 紙、雑誌を 33 タイトル 274 冊を購入し、整理した。
- ② 寄贈資料として図書 428 冊、雑誌 89 冊、視聴覚資料 4 点を受け入れた。
- ③ こどもの本コーナーに約 50,000 冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約 4,000 冊を開架図書として配置した。

コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。また、子育てに関する図書約 1,000 冊と雑誌 14 誌、赤ちゃん絵本約 800 冊を集め、子育て関係機関等のパンフレットなども置いた「子育て支援図書コーナー」の充実を図った。

「よみかたいろいろバリアフリーコーナー」を設け、点字資料、大活字本、LLブック、マルチメディアデジター図書などを配置した。
- ④ 貸出とあわせて子どもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、一層のサービス向上を図るため、子どもの本、子どもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。
- ⑤ 児童関係資料の予約・リクエストは、7,234 件であった。
- ⑥ 学校図書館訪問相談を特別支援学校 7 校に行き、図書館業務に関する相談と県立図書館のサービスについての案内を行った。
- ⑦ 読み聞かせ団体等のべ 49 団体に対して、紙芝居舞台など読み聞かせ・おはなし会用の備品 73 点を貸し出した。
- ⑧ 「使った水はどこへ？」(夏休み出前講座関連展示)など、テーマを決めたミニ展示を、こどもの本コーナーの各所において計 43 回実施し、資料の利用促進を図った。

⑨ 子どもの読書に関する研修会・行事

○初めての方のための読み聞かせ講座 5月31日 参加者：21名

講師 渡邊美恵（絵本専門士、徳島県立図書館おはなし会ボランティアスタッフ）

絵本専門士の講師から、読み聞かせの初歩として、絵本の構造、対象年齢の説明、技術として絵本の読み方の講義の後、参加者による短い実技が行われた。

○令和7年度子どもの読書研修会・徳島県立図書館おはなし会ボランティア研修会

3月8日 参加者：30名

「子どもとお話会で楽しむわらべ歌と手遊び」

講師：三木スズエ（とくしまお話を語る会）

内容：おはなし会の導入や中だるみ、終了時などで使えるわらべ歌や手遊びなどを、実践的に指導。また、それらを所収している図書についての紹介。

○行事

・赤ちゃんと楽しむおはなし会・助産師さんとはなそう！（毎月第2木曜日）

月 日	4/11	5/9	7/10	8/14	9/11	10/9	11/13	12/11
参加人数	8	2	4	5	8	2	5	0

月 日	1/8	2/12	3/12	計
参加人数	12	7	4	57

※図書館改修工事のため、4・5月は第2金曜日に21世紀館ミーティングルームで開催。通常開館準備のため6月は休止。

・おはなし会（毎月第2・4日曜日および「きせつのおはなし会」年4回）

月 日	4/13	4/27	5/5	5/25	6/8	7/13	7/27	8/11
参加人数	16	14	60	17	10	12	13	57

月 日	8/24	9/14	9/28	10/12	10/26	11/3	11/9	12/14
参加人数	19	14	15	15	25	31	7	11

月 日	12/28	1/11	1/25	2/8	2/11	3/8	3/22	合計
参加人数	7	12	12	9	42	11	10	439

※図書館改修工事のため、6月8日まで21世紀館ミーティングルームで開催。通常開館準備のため、6月22日は休止。

・えいごのおはなし会 11/23 参加者：24名

・クリスマスおはなし会 12/13 参加者：23名

・夏休みには、JICA徳島デスクと共催で夏休み「世界ワークショップまつり」を開催し、海外の絵本の読み聞かせ、世界の国の紹介、物作りワークショップ、遊びなどを行った。（8/23 162名）また、徳島県水環境整備課より講師を招き「使った水はどこへ？」（7/31 15名）を

行った。

・文化の森サマーフェスティバルの一環として、児童を対象に、書庫など普段は見られない図書館の裏側を紹介する「図書館探検隊」を行った。(8/11 26名)

・徳島県助産師会開催イベント「第14回 いいお産の日」で、読み聞かせ、絵本の展示を行った。(11/3)

・JICA徳島デスクと共催で「世界体験祭りするじょ!」を開催し、世界の伝統文化・食の紹介と物作りブースを設け、スタンプラリー、協力隊出前講座と関連資料展示などを行った。(2/8 182名)

⑩ 広報

『こどもの本コーナーりようあんない』を常備し、来館者に配布した。

また、毎月1回『こどもの本コーナーだより』を発行し、来館者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の県立図書館等に配布した。ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。

4 図書館システム関係業務

(1) 徳島県立図書館ホームページの運営

平成12年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、Myライブラリサービスや県内図書館横断検索システム等の提供を行った。

(2) コンピュータ委員会

各担当より選出された10名でコンピュータ委員会を構成し、「とくしまネットワーク図書館」システムの運用などについての検討・作業を行った。また、職員用端末ネットワークシステムの更新・運用作業を行った。情報セキュリティの管理にも取り組んだ。

(3) システム担当者会

文化の森6館の担当者の会議に出席。各館業務システム及び文化の森情報システム運用のための各種作業を行った。また、デジタルアーカイブシステムに関するワーキンググループに参加した。10月23日、図書館総合展のフォーラム「ずっと使いたくなるデジタルアーカイブの作り方」にパネリストとして職員を派遣した。

5 他機関との連携事業ほか

(1) 課題解決サービス

① 健康・医療情報の提供

徳島県薬剤師会主催の「まちのお薬相談室」を平成28年6月より図書館1階で月2回実施し、令和7年度は128件の薬効や副作用についての相談が寄せられた。

平成26年11月より「健康応援コーナー」を設置し、関係団体の協力を受けて収集したチラシ、パンフレット類を配架している。

県保健福祉部長寿いきがい課と連携して、9月2日から15日に、認知症に関する資料・パネル展示、令和8年2月3日から2月8日に、フレイルに関する資料・パネル展示を行った。令和8年3月3日から3月15日には、県保健福祉部地域共生推進課の自殺対策啓発活動事業と連携してパネルと関連資料の展示を行った。

② しごと応援コーナーの充実

平成 23 年 9 月に設置した「しごと応援コーナー」には、仕事に関する図書約 800 冊・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま（徳島県若年者就職サポートセンター）・ハローワーク徳島などと連携して、令和 7 年度においても就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報誌などを置き、情報提供を行った。さらに、県内企業の社史・会社案内の収集・提供も行い、関係機関との連携強化を図った。また、ビジネス支援として、県内企業支援団体の協力で、企業支援関係や経営者向けセミナー等のチラシ・パンフレット類を配架している。

③ 行政支援

県議会事務局の依頼により、テーマ展示の本や調査レポート用の資料を選んで提供した。

(2) 県立図書館 県政情報テラス事業

平成 23 年 11 月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく周知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置している。令和 7 年度は、25 件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する 79 件のチラシを配布した。

(3) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。(別表 p 24～ p 26)

(4) 文化の森連携事業

文化の森全館で、5 月 5 日に「文化の森 こどもの日フェスティバル」、8 月 11 日に「文化の森サマーフェスティバル」、11 月 3 日に「文化の森 秋祭り」、2 月 11 日に「文化の森ウィンターフェスティバル」を開催し、図書館では季節に合った「おはなし会」を実施した。また、8 月以降のフェスティバルでは、「大人のための朗読会」を実施した。

9 月 19 日に行われた「文化の森開園 35 周年 よるあそび」では、「もののけばなし」と題して「おはなし会」を実施した。

令和 7 年度より「飛び出せ！文化の森 ユニバーサルミュージアム推進事業」が開始した。図書館・博物館・鳥居龍蔵記念博物館・近代美術館・文書館の紹介動画を作成し、公開を行った。関連行事として、動画の公開および文化の森全館によるイベントを 3 箇所で開催した。

11 月 29 日 海部病院 図書館は電子書籍体験、おはなし会・絵本展示を実施

12 月 19 日 ひのみね支援学校 図書館は、おはなし会・絵本展示を実施

1 月 12 日 ゆめタウン徳島 図書館は電子書籍の紹介

(5) 大学図書館との連携

平成 29 年 3 月 28 日に締結した「国立大学法人徳島大学、国立大学法人鳴門教育大学、徳島県及び徳島県教育委員会による図書館活動に関する協定」に基づき、以下の事業が実施された。

① 交換展示ほか

○ 県立図書館の企画展「むかしばなしで世界を旅しよう！」（令和 6 年度実施）の交換展

示が、10月20日から12月5日まで徳島大学附属図書館で、1月6日から2月9日まで鳴門教育大学附属図書館で実施された。

○ 県立図書館ホームページ「徳島デジタルアーカイブリンク（県内Webサイトリンク集）」からの徳島大学附属図書館及び鳴門教育大学附属図書館がデジタル化した画像データベースへのリンクアクセスを継続した。

② 図書館職員の交流研修

○ 徳島県図書館職員第1回研修会に、徳島大学附属図書館から職員3名、鳴門教育大学附属図書館から職員3名の参加、第2回研修会に徳島大学附属図書館から職員1名、第3回研修会に、徳島大学附属図書館から職員5名、鳴門教育大学附属図書館から職員2名の参加があった。

○ 図書館職員の相互訪問研修の実施

7月25日鳴門教育大学附属図書館で「防災対策について」の研修があり、2名の職員が参加した。

③ 徳島大学附属図書館の学術講演会の実施への協力

○ 9月6日に徳島大学附属図書館が開催した、附属図書館所蔵「伊能忠敬測量図」重要文化財指定記念シンポジウム「伊能図を未来へー歴史資料を学ぶ・守る・活かす」（第33回徳島大学附属図書館学術講演会）を共催した。

○ 共催展示として、県立図書館2階ブラウジングコーナーで、8月1日から9月6日「伊能図を未来へー歴史資料を学ぶ・守る・活かす」（第33回徳島大学附属図書館学術講演会）のミニ展示を行った。

④ 平成28年8月から、鳴門教育大学附属図書館と徳島県立図書館による相互貸借を実施しており、令和7年度は、貸出297冊、借り受け18冊だった。

⑤ その他

県立図書館で、各館の利用案内やイベントのチラシの配布や、各館のポスターの掲示を行い、また、大学の刊行物や講演会などの案内を県下の市町村立図書館へ送付した。

◆ 令和7年度刊行物

- | | | |
|-----------------|----------|-------------|
| ① 令和7年度 年報 | 300 冊 | (R7.6.1 発行) |
| ② 令和8年度図書館カレンダー | 40,000 枚 | (R8.2.1 発行) |

講師の派遣

月 日	会 場	講座内容等	派遣職員	参加者数
7月2日	21世紀館 情報文化実習室	シルバー大学院歴史文化講座 県立図書館調べもの講座	田村加代・松原美和 山本みち・山本翔太 岡田明里	17
7月24日	美波町立由岐小学校	電子書籍・とくしまデジタル アーカイブ活用職員講習会	中本好彦・今井順子 葛谷沙也加	7
8月8日	徳島県立図書館	学校図書委員研修会 「電子書籍活用講座」	中本好彦	50
8月26日	徳島県立阿波高等学校	読み聞かせ実践講習会	立石忠徳	5
9月26日	阿波市立阿波図書館	阿波市立図書館職員郷土資料 レファレンス研修	松原美和	17
11月3日	イオンモール徳島	「第14回 いいお産の日」 (徳島県助産師会イベント) での読み聞かせ、絵本の展示	立石忠徳・岩代友紀	210
11月18日	徳島県立障がい者 交流プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」 (点訳奉仕員養成講習の受講者も参加)	今井順子・中本好彦	12
11月29日	徳島県立図書館	四国大学司書課程演習授業	今井順子・小松真幸	47
12月6日	日亜化学本社	育児イベント 「絵本を使って子どもと一緒に遊んでみよう！」	小松真幸・立石忠徳	25

実習・研修

	実習・研修名	参加者	月 日	内 容
1	1Day サマー チャレンジ	阿波高等学校 1名	9月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の役割・業務の学習 ・資料の受入、整理 ・レファレンス体験
2	フレッシュ研修 企業等研修	新任教員(吉野川市立高越 小学校、吉野川市立山瀬小 学校、つるぎ町立半田小学 校、東みよし町立加茂小学 校) 4名	11月19日・20日	
3	インターンシップ	脇町高等学校 1名	8月20日・21日	
4	インターンシップ	南部中学校 4名	10月22日・23日	

視察・見学

	組織名	月 日	参加者数	内 容
1	佐賀県鹿島市議 団	10月21日	10	<ul style="list-style-type: none"> ・「徳島県読書活動の推進に関する条例」 について ・読書活動に関する取組について
2	愛知県日進市教 育委員会	12月11日	3	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルアーカイブについて ・文化の森情報提供システム(館内閲覧 システム)について ・電子書籍について

学校教育との連携－学校の授業・遠足・見学等による図書館利用－

	学校名	月 日	内 容	参加人数
1	応神小学校 1・2年	10月17日	自由閲覧・見学・おはなし会	61
2	中野島小学校 2年	10月24日	自由閲覧・見学	45
3	千松小学校 2年	10月30日	自由閲覧・見学	144
4	助任小学校 2年	10月31日	自由閲覧	128
5	川内北小学校 2年	11月5日	見学・おはなし会	90
6	生比奈小学校 2年	11月7日	見学・おはなし会	16
7	日和佐小学校 1～3年	11月11日	見学・おはなし会・自由閲覧	78
8	板野西小学校 3年	11月11日	自由閲覧・見学・とくしまデジタルアーカイブ	24
9	南井上小学校 3年	11月11日	自由閲覧・見学	81
10	八万南小学校 2年	11月14日	自由閲覧・見学	117
11	神宅小学校 1・2年	11月14日	自由閲覧・見学・質問コーナー	37
12	加茂名南小学校 3年	11月14日	自由閲覧・見学・質問コーナー	112
13	津田小学校 2年	11月18日	自由閲覧・見学・おはなし会	81
14	広野小学校 1・2年	12月5日	自由閲覧・見学・おはなし会	20
15	山瀬小学校 1～6年	12月19日	自由閲覧・見学	27
16	神領小学校 2年	2月6日	自由閲覧・見学	14
17	川内保育所	2月27日	おはなし会	15

計 1090

一般団体の図書館見学

	団体名	月 日	参加人数
1	櫛渕樟寿会	11月14日	17

参考：図書館資料充実費内訳（地形図・製本費等を除く）

網掛部分 単位：（円）

決算額	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
○ 調査・郷土担当				
(1) 逐次刊行物	7,490,659	7,455,796	7,650,838	7,080,579
資料購入（備品費）費用	2,397,205	2,238,695	2,362,503	2,069,397
点数	225	231	244	234
資料購入（需用費）費用	5,093,454	5,217,101	5,288,335	5,011,182
雑誌種数	277	270	270	268
新聞紙数	31	31	29	28
官報	1	1	1	1
(2) 参考資料（備品費）	2,917,521	3,578,822	5,221,454	2,866,048
参考図書費用	2,815,552	3,508,474	5,080,523	2,808,889
冊数	251	221	417	198
特別集書費用	101,969	70,348	140,931	57,159
冊数	27	19	46	18
(3) 郷土資料	2,000,349	1,244,866	1,263,369	918,291
資料購入（備品費）費用	1,918,360	1,158,665	1,170,549	825,471
図書冊数	472	461	522	325
CD等点数	28	10	18	12
資料購入（需用費）費用	81,989	86,201	92,820	92,820
雑誌種数	3	3	3	3
新聞紙数	1	1	1	1
○ 資料・児童担当				
(1) 貸出用図書（備品費）	17,758,671	17,993,650	16,365,553	18,462,919
一般資料図書購入費	17,378,641	17,477,400	15,751,145	17,891,259
冊数	8,137	8,203	7,092	7,677
視聴覚資料購入費	380,030	516,250	614,408	571,660
点数	82	79	135	137
(2) 児童関係資料	6,636,146	6,693,300	6,115,222	6,835,547
資料購入（備品費）費用	6,347,964	6,403,276	5,819,872	6,563,530
児童図書冊数	3,474	3,501	3,149	3,396
紙芝居巻数	51	70	64	56
CD等点数	0	15	0	0
資料購入（需用費）費用	288,182	290,024	295,350	272,017
雑誌種数	36	32	34	33
新聞紙数	5	5	5	5
(3) 博・美・鳥居 貸出用購入費	1,848,033	1,762,742		
点数	146	167		
図書購入費合計	38,651,379	38,729,176	36,616,436	36,163,384
図書購入費（備品費）	33,187,754	33,135,850	30,939,931	30,787,365

6 諸 統 計

○現有蔵書数 (令和8年3月31日現在)

〈単位：冊〉

区分 分類	一般・参考 郷土・逐刊 特別集書	読書会文庫 博・美・鳥居	児童	計	前年度末現在
0：総 記	134,694	228	8,656	143,578	141,788
1：哲 学	63,924	526	2,484	66,934	66,589
2：歴 史	126,517	761	8,268	135,546	134,843
3：社会科学	337,986	839	13,517	352,342	348,733
4：自然科学	113,982	287	17,049	131,318	129,946
5：技 術	149,321	186	7,012	156,519	154,762
6：産 業	92,250	400	3,279	95,929	94,839
7：芸 術	146,162	215	18,858	165,235	164,352
8：言 語	25,443	98	3,217	28,758	28,553
9：文 学	249,176	5,586	51,898	306,660	308,540
童 話	9	579	14,578	15,166	14,759
絵 本	129	39	75,104	75,272	75,521
そ の 他	59,097	1,776	4,609	65,482	65,493
計 (冊)	1,498,690	11,520	228,529	1,738,739	1,728,718

○電子書籍受入タイトル数と閲覧数 (令和8年3月31日現在) *累計H29～

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	累計
タイトル数	466	1,001	559	569	462	655	442	4,646
閲覧数	2,918	9,358	10,232	14,184	16,361	18,502	19,258	

○利用者登録者数(令和7年度)

区 分	
年間館内登録者数	2,456人
昨年度末有効登録者数	*168,806人
読書会文庫	7団体

*貸出利用可能な登録者数を記載

○県外相互貸借(令和7年度)

		四国内	四国外	国会図書館	その他	計
貸出	件数	212	126		1	339
	冊数	432	187		1	620
借受	件数	48	34	1	0	83
	冊数	56	40	2	0	98

○図書貸出冊数(令和7年度)

〈単位：冊〉

区 分	冊 数	
個人貸出	図書	401,005
	洋書	1,423
	視聴覚資料	5,870
	逐次刊行物	21,530
	その他	2,119
	小 計	431,947
協力貸出	図書館・図書館未設置町教育委員会	17,288
	県立学校	1,194
	小 計	18,482
行政支援サービス	118	
鳴門教育大学附属図書館	297	
読書会文庫	726	
貸 出 総 数	451,570	

○月別利用状況 (令和7年度)

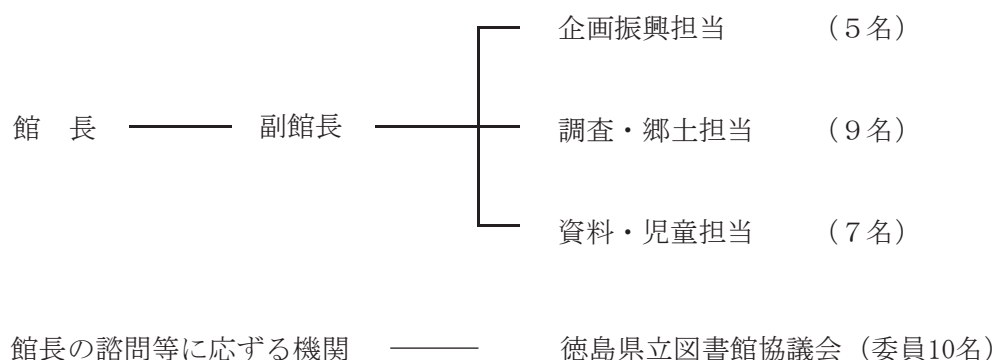
(単位：日・人・冊・回)

	開館 日数 (日)	登 録 者		貸 出 利 用 者		貸 出 冊 数		予 約 ・ リ ク エ ス ト		参 考 質 問						
		月 計	日 平 均	月 計	日 平 均	月 計	日 平 均	月 計	日 平 均	口 頭	電 話	文 書	メー ル	資 料 案 内	月 計	日 平 均
4月	26	84	3	7,499	288	21,793	838	2,755	106	11	11	0	4	679	705	27
5月	27	108	4	7,828	290	22,284	825	2,928	108	8	11	3	14	640	676	25
6月	13	142	11	6,344	488	21,675	1,667	1,838	141	14	7	0	6	483	510	39
7月	26	436	17	14,482	557	45,771	1,760	2,991	115	22	22	8	18	912	982	38
8月	27	378	14	16,407	608	50,867	1,884	3,221	119	38	18	10	11	926	1,003	37
9月	24	219	9	12,746	531	39,971	1,665	2,932	122	25	13	10	8	650	706	29
10月	26	210	8	13,241	509	39,673	1,526	2,849	110	23	21	9	14	651	718	28
11月	25	209	8	13,177	527	41,244	1,650	3,028	121	28	17	3	9	598	655	26
12月	23	147	6	12,230	532	37,827	1,645	2,939	128	8	20	3	11	540	582	25
1月	22	201	9	12,500	568	38,364	1,744	2,952	134	11	21	7	7	568	614	28
2月	15	131	9	9,238	616	29,436	1,962	2,231	149	17	13	2	5	435	472	31
3月	25	191	8	13,973	559	43,042	1,722	3,225	129	8	17	11	26	512	574	23
合計	279	2,456	/	139,665	/	431,947	/	33,889	/	213	191	66	133	7,594	8,197	/
平均	23	205	9	11,639	501	35,996	1,548	2,824	121	18	16	6	11	633	683	29

IV 管 理

1. 組織（令和8年4月現在）

(1) 組織図



(2) 職員構成

職名 所属	館長	副館長	課長 補佐	主査兼 係長	係長	主任	主任 司書	司書	地方創 生推進 員	計
館長	1									1
副館長		1								1
企画振興担当			1 (1)	1 (1)	2 (2)		1 (1)			5 (5)
調査・郷土 担当			3 (3)		2 (2)	1 (1)		2 (2)	1	9 (8)
資料・児童 担当			2 (2)		3 (3)	1 (1)		1 (1)		7 (7)
計	1	1	6 (6)	1 (1)	7 (7)	2 (2)	1 (1)	3 (3)	1	23 (20)

※（ ）は、司書資格者数（内数）

2 施設・設備

建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182 m²
- ◎ 延床面積 8,989.594 m²
- ◎ 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

<施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積 (m ²)	用途・分類	面積 (m ²)
<開架スペース>	[4,085]	<管理スペース>	[1,393]
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室 (整理作業室)	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフルーミング	60
カウンター	55	集会室 (大)	122
こどもの本コーナー	566	集会室 (小)	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスヤード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
開架書架コーナー	355	更衣室 (2)	22
デジタルライブラリー室	27	湯沸室 (2)	17
研究室	23	倉庫 (2)	84
撮影室	17	<機械・設備スペース>	[693]
エントランスホール	204	機械室 (5)	575
ロッカーコーナー	69	電気室	92
その他	389	ハロンガスボンベ室	26
<収蔵スペース>	[1,843]	<その他>	[975]
館内書庫	1,434	1階エントランス	225
館外書庫	349	その他	750
貴重書庫	60		
* 書庫は積層式になっているため、実質 3,626 m ² ある。			

3 沿 革

年 月 日	事 項
大正 5 年 7 月 24 日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光慶図書館と称する。
大正 6 年 6 月 24 日	開館式を挙げる。
昭和 20 年 7 月 4 日	戦災により焼失する。
昭和 24 年 5 月 3 日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と称する。
昭和 25 年 3 月 13 日	火災により焼失する。
昭和 25 年 7 月 25 日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、館外奉仕活動を始める。
昭和 25 年 12 月 1 日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。
昭和 28 年 11 月 3 日	館舎を再建し、館内奉仕活動を始める。
昭和 30 年 4 月 1 日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。
昭和 37 年 3 月 18 日	移動図書館車「やまなみ 2 号」を増車、やまなみ 1 号・2 号となる。
昭和 41 年 7 月 24 日	創立 50 周年記念式典を挙げる。
昭和 43 年 4 月 1 日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立図書館規則が定められた。 会計規則の一部改正により、憲法記念館から県立図書館に改名された。
昭和 45 年 3 月 31 日	徳島県立図書館規則が廃止され、徳島県立図書館管理規則が定められた。
昭和 51 年 7 月 14 日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ 2 号」を新設する。
昭和 52 年 7 月 28 日	創立 60 周年記念大会を挙げる。
昭和 55 年 1 月 7 日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建設を中核とした「文化の森」 構想を発表する。
昭和 57 年 3 月 23 日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決定された。
昭和 59 年 5 月 9 日	図書館基本構想検討委員会が発足する。
昭和 61 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。
昭和 62 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の実施設設計が完了する。
昭和 62 年 6 月 25 日	創立 70 周年記念講演会を挙げる。
昭和 62 年 7 月 14 日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。
昭和 63 年 2 月 1 日	協力車「やまなみ」を新設する。（移動図書館事業の廃止による。）
平成元年 10 月 31 日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。
平成 2 年 4 月 1 日	文化の森図書館へ移転のため休館する。
平成 2 年 11 月 3 日	文化の森図書館として新築開館する。
平成 7 年 10 月 17 日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラーでみる戦後展」を開催する。
平成 12 年 10 月 20 日	文化の森開園 10 周年記念「世紀末大博覧会」を 5 館共同で開催する。 図書館は、「海野十三の描いた未来」を担当する。
平成 17 年 10 月 22 日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見－15 の人・もの・場 所」を 5 館共同で開催する。図書館は、「岡本韋庵」の展示等を担当する。
平成 22 年 2 月 16 日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成する。
平成 22 年 11 月 23 日	文化の森開園 20 周年記念展「軌跡」と記念行事「文化の森大秋祭り！」 を 5 館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワークショップ等を担当する。
平成 23 年 4 月 1 日	貸出カウンターの業務委託を行う。
平成 27 年 9 月 18 日	文化の森開園 25 周年記念事業を「ヒトガタをめぐる冒険」を 6 館共 通テーマとして実施。図書館は企画展「ひとが思い描いたひと」、「ア ニメその歴史と未来」展を開催する。
平成 29 年 11 月 5 日	創立 100 周年記念式典・講演会を挙げる。
平成 30 年 4 月 23 日	子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受賞する。
令和 2 年 4 月 1 日	教育委員会より知事部局(未来創生文化部)に移管。
11 月 3 日	文化の森開園 30 周年記念共同企画展「文化遺産を後世に伝える とくしま デジタルアーカイブ」を各館共同で開催、旧館時代のレコード等を展示。
令和 3 年 7 月 10 日	文化の森に移転後、来館者 1500 万人を達成する。
令和 7 年 1 月 23 日	大規模改修工事のため部分開館開始。

年 月 日	事 項
令和7年6月24日	改修終了後、リニューアルオープン。

4 歴代館長

就 任 年 月 日	館 長	館 長 事 務 取 扱
大正 5 年 7 月 26 日		県内務部長 広瀬直幹
大正 5 年 11 月 6 日		県内務部長 亀井光政
大正 6 年 3 月 31 日		県内務課長 林恒四郎
大正 6 年 10 月 10 日		県学務課長 野瀬千太郎
大正 10 年 3 月 17 日		司書 岩瀬 龜之進
大正 10 年 3 月 31 日	岩 瀬 龜之進	
大正 13 年 12 月 6 日		県学務課長 鈴木省吾
大正 13 年 12 月 20 日		県内務部長 小島庄三
大正 14 年 1 月 9 日		県学務課長 松本善一
大正 15 年 8 月 26 日		県社会教育主事 木島本崎
昭和 2 年 2 月 14 日	坂今 本田 章好 三太	
昭和 13 年 9 月 22 日		
昭和 19 年 3 月 22 日		県青少年教育課長 三沖 好田 菊武 夫雄
昭和 19 年 4 月 25 日		県青年教育課長
昭和 19 年 6 月 6 日	大岡 谷島 幹 男	
昭和 20 年 4 月 26 日	原 島田 幹 雄	
昭和 22 年 8 月 31 日	蒲藤 池居 武正 浩夫	
昭和 24 年 5 月 3 日	藤上 居原 正信 浩一	
昭和 37 年 4 月 1 日	竹喜 原田 俊泰 一臣	
昭和 38 年 4 月 1 日	高石 井堂 静廣 光夫	
昭和 44 年 4 月 1 日	近岩 藤佐 俊健 二司	
昭和 50 年 4 月 1 日	岸芝 山日中 裕之 巖正	
昭和 52 年 4 月 1 日	武米 澤平 宏昭	
昭和 54 年 4 月 1 日	小福 松平 治清	
昭和 56 年 4 月 1 日	松今 崎平 聰春	
昭和 58 年 4 月 1 日	桐早 本見 義憲 一	
昭和 61 年 4 月 1 日		近代美術館長 阿 部 修 三
昭和 63 年 4 月 1 日	桑上 村野 誠樹	
平成 2 年 4 月 1 日	中林 野井 良章	
平成 5 年 4 月 1 日	青吉 木成 善志 行学	
平成 7 年 4 月 1 日		二十一世紀館長 中 瀬 敬 一
平成 8 年 4 月 1 日		
平成 10 年 4 月 1 日		
平成 11 年 4 月 1 日		
平成 13 年 4 月 1 日		
平成 14 年 4 月 1 日		
平成 15 年 4 月 1 日		
平成 16 年 4 月 1 日		
平成 17 年 4 月 1 日		
平成 18 年 4 月 1 日		
平成 19 年 4 月 1 日		
平成 19 年 5 月 1 日	榎松 納浦 正 明博	
平成 20 年 4 月 1 日	町野 田 豊由 治佳	
平成 21 年 4 月 1 日	中林 青吉 善志 行学	
平成 22 年 4 月 1 日		
平成 24 年 4 月 1 日		
平成 25 年 4 月 1 日		
平成 27 年 4 月 1 日		
平成 27 年 5 月 1 日		
平成 28 年 4 月 1 日		
平成 29 年 4 月 1 日		
令和 元 年 5 月 1 日		
令和 3 年 4 月 1 日		
令和 4 年 4 月 1 日		
令和 5 年 6 月 1 日		
令和 8 年 4 月 1 日		

V 令和7年度行事記録

1 集会行事

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
4月25日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事	規約改正、令和6年度決算、令和7年度計画について	19
5月15日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	令和7年度読書振興大会、理事会・総会について	9
5月23日	阿波学会協定書締結式	阿波学会役員、勝浦町・上勝町関係者	阿波学会と勝浦町・上勝町による勝浦郡を対象とした相互学術調査の協定書締結式	10
5月30日	阿波学会理事会・評議員会	阿波学会役員	令和6年度決算、令和7年度計画について	25
5月31日	初めての方のための読み聞かせ講座	講師：渡邊 美恵 氏	絵本の読み聞かせについての講義とワークショップ	21
6月23日	徳島県読書振興協議会総会・ブロック会	理事・会員	令和6年度決算、令和7年度計画、研修・意見交換会	32
6月25日	阿波学会総合学術調査（勝浦郡）レギュレーション	調査役員、班長勝浦町・上勝町担当	調査班調査テーマ・内容の確認、地元との協議、日程について	21
7月5日	図書館探検隊	イベント広報委員	リニューアルした閲覧室、普段は入れないバックヤードを案内	12
7月18日	第1回 徳島県図書館職員研修会	講師：和田 健太郎 氏 星野 盾 氏	講義：「国立国会図書館を使いこなすインターネットから使える国立国会図書館のサービス」 講義：「除籍選定の手順と考え方」	97
7月31日	夏休み出前講座「使った水はどこへ？」	講師：徳島県水環境整備課	水の浄化の必要性や浄化処理施設の仕組みについての講義	15
8月3日	阿波学会総合学術調査（調査地：勝浦郡）結団式	役員、勝浦町・上勝町関係者、各班調査員	各班から総合学術調査内容の説明	36
8月3日 ～ 9月2日	令和7年度阿波学会学術調査	各班調査員	勝浦郡内学術調査	38
8月11日	こどもの図書館探検隊	児童担当	小学生対象。図書館の書庫や閲覧室などを案内	26
8月11日	大人のための朗読会	朗読会ボランティア	文芸作品の朗読	31
9月2日	徳島県読書振興協議会優良読書グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書グループ推薦団体選考	9

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
9月2日	図書館協議会	協議会委員	令和6年度事業実績・7年度事業の実施状況について、第4期・第5期サービス向上目標について	16
9月12日	第2回 徳島県図書館職員研修会	講師： 茂泉 ユミ 氏	講義：「本と利用者を結ぶディスプレイ」	29
9月19日	おはなし会「もののけばなし」（文化の森開園35周年よるあそび） 会場：すだちくん森のシアター	立石 忠徳 松原 美和	子ども向けの怪談絵本や紙芝居などの読み聞かせやストーリーテリング	150
9月28日	おはなし会スタッフミーティング	おはなし会ボランティア	令和7年度おはなし会実施状況について ほか	14
10月25日	セカンドライフ応援講座 「定年前後に知っておきたいお金の話」	J-FLEC 認定アドバイザー 玉田 樹身英 氏	定年退職前後の50～60代に向けて、終活、相続、成年後見制度、金融トラブル等についての講演	14
11月3日	大人のための朗読会	朗読会ボランティア	文芸作品の朗読	27
11月7日	徳島県図書館大会（文化の森35周年記念講演会）	講師： 岡本 真 氏	講義：「徳島県の未来の図書館像を考えるー全県的な図書館政策の可能性」	74
11月8日	徳島県読書振興大会 （海陽町大会） （海陽町海南文化村大ホール）	海部郡読書振興協議会ほか	大会テーマ 「本からうまれる ワクワク ウキウキ ドキドキ」	368
11月21日	協力業務実務担当者会	市町村図書館職員ほか	協力貸出、相互貸借の疑問点、問題点について情報提供・情報交換など	27
11月23日	えいごのおはなし会	鈴江 晶子 氏	英語による、大型絵本・絵本の読み聞かせ、手遊び	24
12月13日	クリスマスおはなし会	四国大学幼児教育研究室	うた、絵本の読み聞かせ、工作など	23
1月23日	第3回 徳島県図書館職員研修会	講師： 佐藤 翔 氏 松原 美和	講義：「図書館における情報発信でのSNSの活用」 講義：「郷土のレファレンス」	63
1月31日	ルーラル電子図書館活用講座「はじめての家庭菜園」	農山漁村文化協会 中国四国支部 長谷川貴央氏	「ルーラル電子図書館」を活用した家庭菜園における野菜作りの事例を紹介	20
2月6日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究・研修委員	令和8年度徳島県図書館職員研修会について	6

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人数
2月11日	大人のための朗読会	朗読会ボランティア	文芸作品の朗読	30
3月8日	子どもの読書研修会・おはなし会ボランティア研修会	講師： 三木 スズエ 氏	講義：「子どもとお話会で楽しむわらべ歌と手遊び」	30
3月8日	おはなし会スタッフミーティング	おはなし会ボランティア	令和8年度おはなし会実施予定について ほか	20

2 共催集会行事

(1) まなびの森講演会（年12回：放送大学徳島学習センターと共催）

平成21年3月に「まなびの森」事業(生涯学習支援事業)開設のための協定書を放送大学徳島学習センターと締結、令和5年6月に150回目を迎えた。

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人数
4月19日	徳島の巨樹の話－歴史・伝承・保護について－	佐藤 征弥氏	巨樹にみる日本人の自然観や文化について	28
5月17日	油屋 熊八の世界－油屋将軍と呼ばれていた－	渡辺 美知子氏	実業家・油屋熊八について	22
6月21日	吉野川流域の文化的景観－藍作と竹林・搔寄堤・高石垣家屋－	平井 松午氏	吉野川流域の地理的特性や歴史について	28
7月19日	サイバーセキュリティの世界－脅威とその対策－	曾根 直人氏	サイバーセキュリティの脅威と対策について	32
8月16日	日本刀から学ぶ材料の強さ	英 崇夫氏	日本刀の製鉄技法と材料について	27
9月20日	「戦国初の革新児」・「華麗なる天下人」三好長慶－戦国の世に『理世安民』を掲げるって、どんな人物？－	阿部 敏男氏	三好長慶について	36
10月18日	"在台二世"文学者新垣宏一の紹介	荒武 達朗氏	徳島ゆかりの文学者・新垣宏一について	14
11月15日	豊臣秀吉の天下取りを支えたふたり－実弟大納言秀長と「天下一茶の湯名人」千利休－	須藤 茂樹氏	豊臣秀永と千利休について	35
12月20日	1970年頃からの気候変動について	森本 春男氏	気候変動による影響について	24
1月17日	徳島ヒストリー－城下町で暮らした人びと－	根津 寿夫氏	城下町徳島と人びとの暮らしについて	38

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人数
2月28日	徳島県の恐竜時代の地層と化石ー勝浦町での恐竜化石発掘調査を中心にー	辻野 泰之氏	恐竜時代の地層と勝浦町での恐竜化石調査について	31
3月21日	コンピュータによる文字認識の過去・現在・未来	木村 義政氏	コンピュータによる文字認識の歴史と近年の動向について	24

計 339

(2) ワークショップ (JICA徳島デスクと共催)

期 日	行 事 名	内 容 等	人数
8月23日	夏休み「世界ワークショップまつり」	海外の絵本の読み聞かせ、世界の国や遊びの紹介、物作りのワークショップ。	162
2月8日	「世界体験祭りするじょ！」	世界の伝統文化・食の紹介と物作りブースを設け、スタンプラリー、協力隊出前講座と関連資料展示を実施。	182

3 展 示 事 業

期 間	展 示 名	展 示 内 容
6月24日～7月21日	「県立図書館リニューアル」	大規模改修工事から再開館までの軌跡と、県立図書館サービスについて紹介。
7月23日～9月21日	「図書委員が選ぶ、モンスターの本」	県内高等学校の図書委員が、モンスターに関するお気に入りの1冊を紹介。
9月23日～11月24日	「昭和100年」	昭和のくらしや出来事がわかる本、ベストセラー、戦時中の出版物を紹介。
11月26日～1月25日	「せんそうって？ーこどもの本で知る戦争ー」	戦争についてこどもたちのために書かれた物語、体験記、知識の本などを紹介。
1月27日～4月5日	「橋めぐりー吉野川を中心にー」	吉野川に架かる橋を中心に、徳島の橋から世界の橋までを、写真と資料で紹介。文書館企画展「出発のランドマークー橋から始まる冒険ー」との連携展示。

交換展示 企画展示「むかしばなしで世界を旅しよう！」展
 令和7年10月20日～12月5日 徳島大学附属図書館
 令和8年1月6日～2月9日 鳴門教育大学附属図書館

4 他機関主催・連携展示

期 間	展 示 名 (主 催)	展 示 内 容	場 所
7月15日～ 8月31日	「徳島県男女協調月間<パーク テレコメディア紹介展>」 (パーク テレコメディア)	「パーク テレコメディア (徳島県立男女共同参画総合支援センター)」の活動の紹介、関連書籍の展示。	2階一般資料コーナー
9月2日～ 9月15日	「認知症施策普及・啓発推進月間」パネル展 (県保健福祉部長寿いきがい課)	認知症に関する正しい知識と理解を普及啓発のためのパネル、関連資料を展示。	2階セカンドライフ応援コーナー 1階南側
9月5日～ 3月27日	電子書籍紹介コーナー (総合教育センター)	電子書籍閲覧サービスをパネルやチラシで紹介。	総合教育センター 図書コーナー
11月11日～ 11月30日	「とくしま共に生きるフェスタ2025」 (あいぼーと徳島)	11月29日、30日開催の「とくしま共に生きるフェスタ2025」に合わせ、人権に関する資料を展示。	2階ブラウジングコーナー
1月10日～ 1月25日	書道パフォーマンス作品展示(こども未来部子育て応援課)	四国大学書道文化学科書道部による「共働き・共育て」をテーマとした書道パフォーマンス作品の展示。	1階南側
1月27日～ 4月5日	「出発のランドマークー橋から始まる冒険ー」展(文書館)	当館の企画展示「橋めぐりー吉野川を中心にー」との連携展示。	2階ブラウジングコーナー 3階展示ロビー
2月3日～ 2月8日	「フレイル予防」展 (県保健福祉部長寿いきがい課)	2月1日の「フレイルの日」に合わせ、フレイルの知識と予防に役立つパネル、関連資料を展示。	2階セカンドライフ応援コーナー 1階南側
3月3日～ 3月15日	自殺予防啓発資料展 パネル展 (県保健福祉部地域共生推進課)	3月の「自殺対策強化月間」に合わせ、自殺予防に関するパネル、広報ポスター、関連資料を展示。	2階一般資料コーナー 1階南側

令和7年度 ミニ展示

ミニ展示コーナー（検索コーナー横）

期間	テーマ
5/20～6/8	新緑の季節に「新書」を (部分開館中のため1階エントランスで実施)
6/24～7/13	大阪・関西万博開催中
7/15～8/31	徳島県男女協調月間 (パーク テレコメディア紹介展)
9/2～9/28	自然災害に備えよう！
9/30～10/26	がんを知る
10/28～11/24	ストップ！糖尿病（ダイアベティス）
11/26～1/14	新年を「新書」で！
1/16～2/15	モーツァルト生誕270年
2/27～3/18	自殺予防関連資料展示ーいのちを大切にー

ブラウジングコーナー

期間	テーマ
7/1～8/31	藍推進月間
7/18～8/31	マナーアップ啓発「本が泣いています」
8/1～9/6	第33回徳島大学附属図書館学術講演会「伊能図を未来へー歴史資料を学ぶ・守る・活かす」共催展示
8/15～8/31	追悼・千玄室さん
9/23～11/24	昭和を知る本
11/11～11/30	とくしま共に生きるフェスタ2025関連展示
12/2～1/31	はじめての家庭菜園
12/24～12/28	追悼ジャンボ尾崎さん
12/28～1/18	追悼・内館牧子さん
1/20～2/15	料理とお菓子の本

セカンドライフ応援コーナー

期間	テーマ
6/24～8/31	セカンドライフをいきいき過ごすヒント
9/2～10/26	認知症を知る（長寿いきがい課と共催）
10/28～12/28	70代からの本棚
1/6～2/15	フレイル予防（長寿いきがい課と共催）

郷土資料コーナー

期間	テーマ
6/24～7/16	写楽
7/1～8/15	阿波おどり
7/18～8/31	しらべよう！徳島
8/12～8/31	徳島の戦争
9/2～9/30	たぬきと怪談
10/1～11/3	徳島の工芸
10/19～11/16	竹宮恵子さん
11/5～11/30	とくしま観光！
12/2～1/25	あったか徳島ごはん
1/7～2/8	森文庫ご紹介
1/27～4/5	橋めぐりー吉野川を中心にー
3/3～4/30	活躍する徳島県人-2025年の出版物よりー

しごと応援コーナー

期間	テーマ
6/24～8/31	スキルアップ
9/2～11/3	お仕事小説2025
11/5～1/14	始めてみようー起業・開業に役立つ本ー
1/16～3/18	税を知る
3/20～5/10	新生活

ブックトラックによるミニ展示

期間	テーマ
6/24～8/31	夏野菜をおいしく
9/2～11/3	『別冊太陽』で旅する日本
11/5～11/30	秋のおでかけ
12/2～12/28	年末年始
1/6～2/15	ぬくぬく温活
1/27～2/15	県立図書館お仕事体験！
2/27～4/15	春ー花も団子もー

こどもの本コーナー

○児童・毎月の企画展示	
期間	テーマ
6月	雨
7月	つめたいおやつ
8月	夏
9月	どうぶつ
10月	ハロウィン
11月	おしごと
12月	クリスマス
1月	冬
2月	ねこ
3月	花

○児童・ミニ展示	
期間	テーマ
6/24-7/6	たなばた
6/24-7/21	図書館と本
6/24-7/10	天気と異常気象
6/24-8/31	読書感想文
7/1-8/3	使った水はどこへ？
7/8-8/31	夏休み！宿題できたかな？
7/11-7/31	夏休みは何しよう？
7/23-8/31	本で世界を旅しよう！
8/1-8/31	戦争と平和
9/2-9/28	〇〇のウラガワ、どうなってるの？
9/2-9/28	おじいちゃんおばあちゃんといっしょ！
9/2-9/28	ピンチのとき、どうする？
9/30-10/26	〇〇時代にタイムスリップ
9/30-10/26	ポケットモンスター
9/30-10/26	〇〇のひみつ
10/28-12/4	〇〇の秋！
10/28-12/2	犬のほん
10/28-11/24	動物と生きる
12/5-12/16	生命保険協会徳島県協会・徳島県に働く生保の仲間様からのご寄贈
12/12-1/12	冬休みは何しよう？
12/3-12/28	映画の本
11/26-12/28	発明・発見・モノのはじまり
1/6-2/15	体のふしぎ
12/26-2/15	#勉強★攻略法
1/14-2/15	おかしの本
1/23-1/31	はらぺこめがねさん
2/27-3/25	学校ってどんなところ？
2/27-3/25	図書館で見つけた、変なヤツら
2/27-3/25	図鑑の世界へようこそ！～知る・見る・驚く～
3/17-3/25	竹下文子さん
3/26-4/26	大きな本で見つける、小さな発見
3/26-4/19	あの子のきもち、わたしのきもち
3/26-4/19	レベル99への道！キミを強くする「攻略本」

Ⅵ 大規模改修工事とリニューアルオープン

徳島県立図書館は、経年劣化による雨漏りの発生や、外壁等の危険箇所補修に対応するため、令和6年度から7年度にかけて大規模改修（長寿命化）工事を行った。

<工事の概要>

○工事内容

外部改修工事：外壁タイルの浮き・破損・亀裂の補修

屋上・テラス部分の防水シート施工 ほか

内部改修工事：2階閲覧室の天井及び床の全面張り替え

2階閲覧室の照明器具のLED化 ほか

○主な工程

令和6年10月下旬～ 仮設工事

令和6年11月～令和7年5月 外部改修工事

令和7年1月～6月 内部改修工事

これに伴い、下記の日程で臨時休館・部分開館を行った。

○臨時休館【令和7年1月5日（日）から1月22日（水）まで】

○部分開館【令和7年1月23日（木）から6月8日（日）まで】

開館時間：9時30分から17時まで

休館日：毎週月曜日（祝日に当たるときはその翌日）

令和7年6月9日からは、リニューアルオープンの準備のため再度臨時休館とし、6月24日にリニューアルオープンした。リニューアルオープン当日は、入館者に先着でオリジナルブックカバーを配布し、「県立図書館リニューアル」と題した企画展を行った。また、7月には新しくなった図書館を見学して貰うため、図書館探検隊も開催した。



(配布したブックカバー)



徳島県立図書館

リニューアルオープン

2025. 6. 24

オリジナルブックカバー

プレゼント

6/24(火)

6/28(土)

6/29(日)

午前9時30分から

* それぞれ先着 200 名まで

企画展

県立図書館リニューアル

6/24(火)～7/21(月)

徳島県立図書館 1階ギャラリー

図書館探検隊

7/5(土)

① 午前10時～午前10時30分

② 午後1時～午後1時30分

* 申込はいりません(各回30分前から受付)。

* それぞれ先着 10 名まで

* どなたでもご参加できます。小学生以下のお子さんは、保護者の方もご参加ください。

〈データで見る徳島県立図書館の現状〉

年度	R3	R4	R5	R6	R7	
開館日数	280	286	288	281	279	
入館者数	349,486	330,411	319,448	289,868	280,911	※累計16,470,637人 H17から平日火～金は 19:00まで開館
登録者数	2,777	2,476	2,751	2,277	2,456	
個人貸出冊数	546,190	514,990	511,626	447,856	431,947	
協力貸出冊数	25,181	24,977	23,585	19,140	17,288	※市町村立図書館等 への貸出（図書館未 設置は教育委員会 へ）
高等学校・支援学校図書 館協力貸出冊数	2,122 (31校)	1,744 (27校)	1,566 (29校)	1,691 (30校)	1,194 (29校)	※県立学校図書館へ の貸出（利用校数）
その他貸出冊数	1,579	1,285	1,472	1,316	1,141	※読書会文庫・大学 附属図書館・行政支 援サービスの貸出
県外相互貸借冊数 (内、貸出冊数)	1,042 (840)	978 (797)	1,059 (868)	603 (506)	718 (620)	
予約・リクエスト件数	35,562	35,117	34,877	33,237	33,889	
レファレンス件数	9,124	8,508	8,447	8,081	8,197	
図書資料数	1,203,465	1,200,060	1,202,297	1,204,558	1,207,094	※雑誌・視聴覚資料 を除く
購入図書冊数	12,968	12,783	12,873	11,534	11,904	※雑誌・視聴覚資料 を除く
雑誌購入種数	317	317	306	308	305	※官報1を含む
新聞購入種数	38	37	37	35	34	
資料充実費（千円） 内、図書購入費（千円）	39,500 33,136	39,500 33,136	39,500 33,136	37,404 30,940	37,404 30,940	※当初予算額
人口1人当たり図書 購入費（円）	46	47	47	45	46	
人口1人当たり貸出冊数	1	1	1	1	1	
人口1人当たり蔵書冊数	2	2	2	2	2	
県人口	714,606	705,876	697,733	688,373	678,771	※県人口は、「徳島 県推計人口」当該年 度4月1日時点の推定 人口

徳島県内市町村立図書館一覧 2026

(横断検索可能館)



	図書館名	住所	電話番号 FAX番号	開館時間	休館日 (年末年始・特別整理期間以外)
1	徳島県立図書館	〒770-8070 徳島市八万町向寺山	088-668-3500 088-668-6904	9:30~19:00 土日祝 9:30~17:00	月曜・祝日の翌火曜 第3木曜
2	徳島市立図書館	〒770-0834 徳島市元町1-24 アミコビル5F6F	088-654-4421 088-654-4423	9:00~21:00	第1火曜
3	鳴門市立図書館	〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字蛭子山49	088-685-0255 088-686-6589	9:00~19:00	火曜・第1金曜
4	生涯学習センター 小松島市立図書館	〒773-0001 小松島市小松島町字新港29-11	0885-32-1100 0885-32-7188	9:30~18:00	月曜・第3金曜 祝日の翌日
5	阿南市立 那賀川図書館	〒779-1235 阿南市那賀川町苅屋308-1	0884-42-3111 0884-42-3299	10:00~18:00	月曜・祝日 月末(土日月の時金曜)
6	羽ノ浦図書館	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3	0884-44-2100 0884-44-2099	10:00~18:00	月曜・祝日の翌火曜 月末(土日月の時金曜)
7	吉野川市立 鴨島図書館	〒776-0010 吉野川市鴨島町鴨島252番地1	0883-22-2004 0883-22-2014	9:00~19:00	火曜 館内整理日
8	山川図書館	〒779-3404 吉野川市山川町北島19-7	0883-42-5222 0883-26-4101	10:00~18:00	月曜・祝日・月末
9	川島図書館	〒779-3303 吉野川市川島町桑村883-1	0883-25-3141 0883-25-5382	10:00~18:00	水曜・祝日・月末
10	阿波市立 阿波図書館	〒771-1703 阿波市阿波町東原167-1	0883-35-5101 0883-35-5109	9:00~19:00 9:00~18:00(10~3月)	月曜・月末
11	市場図書館	〒771-1602 阿波市市場町市場字上野段212-2	0883-36-6455 0883-36-6456	9:00~19:00 9:00~18:00(10~3月)	月曜・月末
12	土成図書館	〒771-1506 阿波市土成町土成字漆畑220番地1	088-695-5385 088-695-5515	9:00~19:00 9:00~18:00(10~3月)	月曜・月末
13	吉野笠井図書館	〒771-1402 阿波市吉野町西条字大内13	088-696-4686 088-696-5139	9:00~19:00 9:00~18:00(10~3月)	月曜・月末
14	美馬市立図書館	〒779-3602 美馬市脇町大字猪尻字西分116番地1	0883-53-9666 0883-53-6190	9:00~19:00	火曜 第3木曜
15	三好市 中央図書館	〒778-0003 三好市池田町サラダ1836-1	0883-72-2781 0883-76-0514	10:00~19:00	水曜
16	井川図書館	〒779-4802 三好市井川町岡野前64	0883-78-4311 0883-78-4305	10:00~19:00	火曜
17	勝浦町図書館	〒771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1	0885-42-2300 0885-42-4900	9:30~18:00	月曜・月末
18	佐那河内村立図書館	〒771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2817 088-679-2173	9:00~12:00 13:00~17:00	土曜・日曜・祝日
19	那賀町木頭図書館	〒771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ40	0884-68-2226 0884-68-2566	9:30~18:00 土 9:30~17:00	日曜・祝日 第3月曜日
20	美波町日和佐図書 ・資料館	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天5-1	0884-77-2733 0884-77-0845	10:00~18:00 土・日 10:00~17:00	月曜・祝日 祝日の翌火曜
21	牟岐町立図書館	〒775-0004 海部郡牟岐町大字川長字新光寺82	0884-72-2300 0884-72-3301	10:00~18:00	月曜・第3木曜 祝日(日曜の時は開館)
22	海陽町立 海南図書館	〒775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町38-1	0884-73-3591 0884-73-3551	10:30~18:00	月曜・祝日・月末
23	穴喰図書館	〒775-0501 海部郡海陽町穴喰浦字穴喰375	0884-76-1030 0884-76-1040	10:30~18:00	月曜・祝日・月末
24	松茂町立図書館	〒771-0220 板野郡松茂町広島字四番越6-1	088-699-8722 088-699-8784	10:00~18:00	月曜・月末
25	北島町立図書館・ 創世ホール	〒771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田91	088-698-1100 088-698-1180	10:00~18:00	月曜・第3木曜 祝日(土日の時は開館)
26	藍住町立図書館	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊175-2	088-692-0070 088-692-0170	10:00~18:00	月曜・祝日 第3木曜
27	板野町文化の館 図書館	〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷13-1	088-672-5888 088-672-5999	10:00~18:00	月曜・月末 祝日(日曜の時は開館)
28	東みよし町立図書館	〒779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手51	0883-82-1150 同上	10:00~18:00(4-9月) 10:00~17:30(10-3月)	火曜・木曜 祝日・月末(土・日除く)

徳島県立図書館案内図

- J R 徳島駅から／徳島市営バス・徳島バス利用（約 25 分）
- J R 牟岐線文化の森駅から／徒歩（約 35 分） バス利用（7 分）



開館時間

- ・ 火曜日から金曜日まで 午前9時30分から午後7時まで
- ・ 土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む。） 午前9時30分から午後5時まで

休館日

- ・ 月曜日
ただし、国民の祝日（振替休日含む）のときは、その後最も近い休日でない日
- ・ 毎月第3木曜日（国民の祝日にあたるときは、その翌日）
- ・ 年末年始（12月29日～1月4日）
- ・ 特別整理期間（年間10日間以内、例年1月下旬から2月上旬まで）
- ・ 臨時休館日

徳島県立図書館サービス向上目標(第4期)

～新たな環境下の県立図書館サービス～

令和3年3月

徳島県立図書館では、サービス向上のための改善策や新たなサービスの展開を設定し、その実現に向けて努力していく指針として、平成18年度に「徳島県立図書館サービス向上目標～地域の情報拠点を目指して～」を策定し、以後5年ごとに改正を行い、サービス向上に取り組んできました。また、平成28年度からの第3期中には、開館百周年(平成29年)事業として「とくしま電子図書館」を構築するとともに、子どもの本の充実等を行いました。一方、令和2年に広がった新型コロナウイルスは、感染防止のため人との接触を減らすことを余儀なくさせ、一時期図書館が全国的に休館または部分開館せざるを得なくなりました。こうして第4期目標策定では、改めて図書館の役割を再考することになりましたが、新たな環境下においても、引き続きしっかりと県民の様々な「知りたい」に応え続けていくことを目指し、電子書籍やリモートといった非来館型のサービスも駆使しながら、努力と工夫を重ねていくことといたします。

県立図書館の役割・運営方針

徳島県の図書館ネットワークの中核として、全ての地域の県民のニーズや課題に生涯を通して応えていくとともに、県全体としての図書館サービスの向上を図ります。

目指す図書館の姿

人と資料とをつなぐ図書館

- すべての地域の県民への資料提供
- 「とくしまネットワーク図書館」の充実
- 県内市町村立図書館等への支援
- 他機関・団体との連携協力

探究する人をサポートする図書館

- レファレンス機能の強化
- 使いやすいレファレンス・ツールの提供
- 他機関と連携したレファレンス
- 仕事や暮らしの課題解決を支援

徳島を知って、未来を創る人の図書館

- 郷土資料の収集・保存・活用・発信
- 郷土関係レファレンス・ツールの強化
- 徳島に関する調査研究推進
- 地域の課題解決を支援

読書を愉しみ心を育む人の図書館

- 多様な資料収集と紹介
- 子どもの本を網羅的に収集
- 子どもの読書環境整備と学校図書館との連携協力
- 読書バリアフリーへの取り組み

Ⅰ 人と資料とをつなぐ図書館

当館では昭和 63 年から市町村の図書館や教育委員会を巡回する協力車を運行し、県内公立図書館等への協力貸出や図書館間の相互貸借を行い、すべての県民が居住地にかかわらず同じような図書館サービスが利用できるよう図っています。さらに平成 30 年度から「電子書籍閲覧サービス」といった非来館型サービスを開始しており、今後も他の図書館等との協力やICTサービスの充実によりすべての地域の県民に図書館資料を提供していきます。

(1) すべての地域の県民への資料提供

すべての地域の県民への資料提供を行うため、昭和 25 年から移動図書館車「やまなみ号」を県下に巡回させ、市町村での図書館設置が進んできた昭和 63 年には、各図書館からの予約資料を運ぶ協力車に交代しました。これからも、全県民が利用できるサービスとして、市町村立図書館と図書館未設置の教育委員会への協力貸出を充実させるとともに、「電子書籍閲覧サービス」の普及と充実を図ります。

(2) 「とくしまネットワーク図書館」の充実

「とくしまネットワーク図書館」システムでは、利用者は県立図書館の本をインターネットで予約し、市町村立図書館を通して借りるとともに、各図書館は他館からの借り受けができます。今後も、「とくしまネットワーク図書館」システムを充実させることにより、すべての地域の県民が、より多くの図書館資料に出会い、利用できるよう図ります。

(3) 県内市町村立図書館等への支援

県内公共図書館の発展を図るため、市町村立図書館等との連携を深め、協力車等による図書館資料の搬送を維持します。また、図書館職員の資質・能力の向上を図るため、徳島県公共図書館協議会等において効果的な研修を実施します。さらに、非常時の図書館サービスの継続に向けた情報共有や検討を行います。

(4) 他機関・団体との連携協力

読書活動の振興を図るため、大学図書館および徳島県読書振興協議会等の読書ボランティア団体との連携・協力により、図書館の利用を促進します。

数値目標

5冊以上／人・年	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊出
2万冊以上／年	市町村立図書館・未設置教育委員会・県立学校図書館への協力貸出冊数
40万人以上／年	入館者数

2 探究する人をサポートする図書館

当館のレファレンスでは、司書による調査・相談はもとより、各種データベースを備え、Webでは「調べものナビ」を公開し、事典や図鑑類は電子書籍でも提供しており、今後も、県民がこれらを十分活用して、深い探究を行えるよう、レファレンスの技能とツールの充実に努め、サポートしていきます。

(1) レファレンス機能の強化

社会の複雑多様化に対応した的確なレファレンスサービスを行うため、各図書館職員の研修に努め、様々な分野で最新の動向を把握し、得た知識を共有して専門性やレファレンス技能を向上させるとともに、新しい分野も含め、多種多様な資料を充実させていきます。

(2) 使いやすいレファレンス・ツールの提供

調べたい事項の解決に、利用者自身で、より多くの参考になる本や文献に出会うことができるよう、当館での調査・相談事例のデータベース化とWeb公開を推進するとともに、関心の高いテーマのパスファインダー（調べ方案内）やテーマ一覧を充実させます。また、これらに当館「資料詳細」ページへのリンクといった機能を付加し、Webでできる調べものを拡充します。

(3) 他機関と連携したレファレンス

レファレンス・サービスの質を高めるため、国立国会図書館の協力レファレンスをはじめ、県内外の図書館や専門機関と一層連携して、各館が備える機能を相互に活用します。

また、他機関と協力展示を行うことで新たな利用につなげたり、とりわけ文化の森に集まる博物館等の各施設とは、調査研究やコレクション、レファレンス事例といった情報を共有しながら、より専門的な内容に対応できるよう努めます。

(4) 仕事や暮らしの課題解決を支援

ライフステージの各場面に対応して設定した「しごと」、「子育て」、「セカンドライフ」、「医療・健康」のコーナーで、暮らしに役立つ様々な資料や情報を時宜に応じて選択・提供することで、問題解決を支援します。起業や経営を対象としている「ビジネス分野」については、各種年鑑・統計書やオンラインデータベースの活用を促進していきます。

数値目標

200人以上／年	主催講演・講座参加者数
6,000タイトル以上／年	電子書籍閲覧件数
50件以上／年	レファレンス事例インターネット公開件数

3 徳島を知って、未来を創る人の図書館

都道府県立図書館には、その地域の郷土資料センター的役割があり、当館では歴史的資料から現在の地域社会を映す資料まで満遍なく収集・保存しています。今後も、県民がこれらを十分活用して徳島への理解を深め、歴史・文化の継承や、これからのよりよい地域社会づくりに取り組めるよう、資料を充実し、効果的に紹介して支援していきます。

(1) 郷土資料の収集・保存・活用・発信

徳島県や県出身者に関する資料をはじめ、行政資料、広報誌、地域情報誌等を網羅的に収集・保存します。また、Webのみで公開された資料の紙媒体での収集や電磁的記録も推進します。さらに、歴史的に貴重な資料はデジタル化してアーカイブで広く発信するなど、郷土資料を適切に保存・活用することで徳島の姿を明らかにし、県民の郷土への理解を高めます。

(2) 郷土関係レファレンス・ツールの強化

郷土についての調査研究は利用者の関心が高く、問い合わせが多い分野であるため、豊富なレファレンス事例が蓄積されています。これらの成果は、各司書が共有して調査相談業務の向上を図り、また、郷土関係の事項・人物情報とともにデータベース化し、Web 公開を推進することにより、利用者自身で行う調査研究を容易にしていきます。

(3) 徳島に関する調査研究推進

地域に関する調査研究に対して、調査・相談や資料の提供を通じて活動を支援し、研究成果は当館で県民の利用に供するなど、学術文化の振興に努めます。

特に、60年以上の歴史がある「阿波学会」とは、2年ごとに1市町村ずつ実施する総合学術調査を共催し、その成果は地元市町村に還元するとともに、調査報告書を郷土資料として活用します。

(4) 地域の課題解決を支援

地域の課題解決に取り組む人や団体、行政機関に対して、積極的に資料の提供や調査・相談サービスを行い、その活動や業務を支援します。また、こうした活動等に協調して、資料展示や県政情報の提供を充実させるなど、より多くの県民が関心を高め、課題解決に関わっていきやすくなるよう啓発に努めます。

数値目標

3,000冊以上／年

郷土資料収集冊数

30件以上／年

行政支援サービス件数

4 読書を愉しみ心を育む人の図書館

当館は、蔵書が常に幅広く新鮮な構成となるよう、また、子どものときから読書に親しめることなどに留意して選書に努めてきました。これからも県民ひとりひとりの様々なニーズに応えられるよう多様なテーマの資料を収集するとともに、生涯を通じた「知る」「学ぶ」場として環境を整えることにより、県民の豊かな読書活動を応援します。

(1) 多様な資料収集と紹介

県民が読書そのものを愉しむとともに、それぞれが抱く興味関心に生涯を通じて応えていけるよう、豊富で多岐にわたる内容の資料を、図書・雑誌、視聴覚資料、電子書籍といった様々な形態で収集・提供します。

また、社会的なものや個人的なものを問わず、ありとあらゆる新たな読書テーマの発見につながる提案を行うために、多様なブックリストを作成してWebや資料展示で紹介したり、講演会といったイベントを行い、読書の喜びを高めます。

(2) 子どもの本を網羅的に収集

当館は、昭和40年代から子どもの読書推進のため、絵本・童話をはじめ事典やヤングアダルト向けの本、さらには児童書や児童文学者の研究書まで、すべての子どもの本を網羅的に収集した結果、子どもが楽しめるだけでなく、保護者や図書館・教育関係者等にも役立つ20万点に上る「子どもの本の資料センター」に成長しています。今後も引き続きこの役割を果たしていけるよう、年間児童書出版点数の8割以上の収集を目指していきます。

(3) 子どもの読書環境整備と学校図書館との連携協力

子どもたちが読書に親しむ環境をつくるために、おはなし会などの活動を行います。

また、読みたい本との出会いを増やすパスファインダーやブックリストを作成して、Webや資料展示で紹介します。

さらに、電子書籍を含む調べ学習用図書の充実や協力貸出、協力レファレンスにより学校図書館との連携を深め、自主的な読書活動を支援します。

(4) 読書バリアフリーへの取り組み

障がいの有無にかかわらず県民が読書活動を行えるよう、当館は大活字本や録音図書といった多様な資料の収集や、来館が困難な障がい者への郵送貸出サービスなどを行っています。令和元年に「読書バリアフリー法」も施行され、視覚障がい者等が利用しやすい図書等の一層の充実に努めるとともに、こうした資料やサービス、読書支援機器が十分活用されるよう、誰もがわかりやすい館内表示や、市町村立図書館を通じた広報を行います。

また、日本語が母語でない人の読書活動を支援するため、様々な言語による資料の収集に努めます。

数値目標	
70回以上／年	資料紹介展示回数
3,200冊以上／年	児童書の年間購入冊数
350点以上／年	読書バリアフリー資料収集点数

サービス向上目標（第4期）数値目標

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

評価判定用数値		令和元年度実績	令和2年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 人と資料をつなぐ	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数	5	5	目標	5冊以上				
				実績	5	5	5	5	集計中
	協力貸出冊数 (含・学校図書館)	23,408	24,413	目標	2万冊以上				
				実績	27,303	26,721	25,151	20,831	18,482
	入館者数	432,017	370,268	目標	40万人以上				
				実績	349,486	330,411	319,448	289,868	280,911
② 知への探究	県立図書館主催講演会・講座への参加者数	218	403	目標	200人以上				
				実績	252	456	296	305	363
	電子書籍閲覧件数	2,918	9,200	目標	6,000件以上				
				実績	10,232	14,184	16,361	18,502	19,258
	レファレンス事例インターネット公開件数	66	129	目標	50件以上				
				実績	67	67	100	58	51
③ 地域を知る	郷土資料収集冊数	3,429	3,250	目標	3,000冊以上				
				実績	3,513	3,031	4,634	3,963	2,856
	行政支援サービスの実績	33	48	目標	30件以上				
				実績	49	20	30	27	20
④ 読書を愉しむ	資料紹介展示回数	79	74	目標	70回以上				
				実績	90	84	91	73	90
	児童書の年間購入冊数	3,770	3,564	目標	3,200冊				
				実績	3,445	3,385	3,419	3,096	3,363
	読書バリアフリー収集点数	465	409	目標	350点以上				
				実績	397	396	350	429	460

*令和6年度、7年度は大規模改修工事に伴う利用制限あり。

*図書館法 第7条の3（運営の状況に関する評価等）

図書館は、該当図書館の運営状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

徳島県立図書館 年報 令和8年度版

発行日 令和8年6月1日

発行人 〒770-8070

徳島市八万町向寺山

文化の森総合公園

徳島県立図書館

館長 大井 文恵

TEL (088)668-3500 (代)

FAX (088)668-6904
